

# あさみ会報

朝見まちづくり協議会  
あさみ会報編集部  
発行責任者・鈴木三千夫  
松阪市大宮町 209-4  
朝見地区市民センター内  
電話 0598-52.0007  
2007.09.01 発行  
第 13 号



## 阪神淡路大地震に 学ぼう！

開会の挨拶 田村正会長は、朝見まちづくり協議会は自分たちの地域は自分たちで築こうと設立された、防災部会を始め協議会のメンバーが夜遅くまで活動している。朝見に住んでよかつたといえる地域づくりに全力で取り組んでいる。本日の防災講演会には阪神淡路大地震の語り部である野村勝氏を招いての開催であるとし、これからの防災に役立てほしいと沢山の参加者に呼びかけた。

## 朝見防災講演会開催

### 阪神淡路大地震から何を学んだか！ 講師 野村 勝さん

### 震度7 真っ暗闇に沈む、瓦礫化した神戸 すべてがマヒ

# 自分たちの地域は自分たちで守ること

講師の野村勝氏は先ず始めに当時の惨状を留める映像を見てほしいと、震度7の地震がどれほど凄いか自分たちの地域でこのような災害が発生したらどのようにするか見てくださいます。地震はないという誤った神話の

も無防備だった大都會が破壊、機能を失う。阪神高速道路崩壊、国道43号2号は亀裂と陥没で不通、三ノ宮幹線の橋げたが落ちる、神戸市内は完全に機能を失う。倒壊家屋に次々と下敷きになって逃げ出せなくなつた人が何人いるかも分からない。消火栓からは水が出ず燃え尽くす我が家にもなすすべもなく立ち尽くす家族たち。淡路島では地元の消防団がいち早く生き埋めの人を次々と助け出す。小さな町で誰がどこで下敷きになっているか分かつているから短時間で多くの人が救助される都市部では誰がどこに埋まっているのか分かりません。

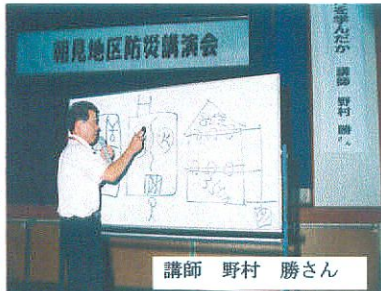
## 我が地域に 地震はない神話が 被害を拡大する

家族や近所の人が瓦礫の下から手作業で助け出すしか方法がありません。多くは救出中に声が聞こえなくなり、炎に包まれてしまいました。新興住宅地の斜面の土砂崩れや陥没、ポートアイランド、六甲アイランドの埋め立てによる液状化の被害、上下水道の断水、ガスの破裂、停電、電話の不通、かねてから防災には備えてきた行政や放送局も直撃を受けほとんどが機能せず。世界にも例を見ない大都市震災に全国から救済に駆けつけた。ポラン

ティアの人是不眠不休で救出にあたった。しかし失ったものは余りにも大きく深い悲しみは決して消えることはありません。地震列島に住みながら地震はないという誤った神話が被害を大きくした。世界に誇る耐震設計も自然の猛威に崩れ去りました。地震は忘れたころに必ずやってくる。この得がたい体験を教訓として同じ過ちと悲劇を繰り返さないことが300万人にもほのぼの被災者の願いですとサンテレビは結んでいる。

## 被害の町並み 想像を絶する

当時私は神戸消防本部に勤務、トイレの掃り階段のところで激震に遭う、手すりや握りそのまま死んでしまいうかと思つたほどあらゆるものが落ち倒れてきた。淡路島が震源地だった。直後大阪ガスから自動の依頼があり外に出ると自分の手が見えないほど真っ暗だった。100メートルも行くといビルや家屋が倒壊して懐中電灯で照らす全ての所が倒壊していた。



講師 野村 勝さん



閉会の辞 岡田浩昌さん

## 自助・共助が大切

ある。自助、共助、公助とあるが自助共助をしっかりとしないと自分たちの命は守れない災害に対する心構えとして、①地震はいつ来るか分からないから、我が家でできる対策は一つでも二つでもする。②初動体制の大切さ。自身自身で対応できることが大事。③消防、警察、医療関係との連携が大事。関係機関との連携をしっかりと取っておく。④コミュニティ、地域のコミュニティが大事であり、自分たちの地域の防災力を高めないと命を守れない。地域の防災力を考えるとき防災訓練をやる時は楽しくなるようすること。楽しい子供が一杯やってくる。災害は一杯ある。地域の住民は模範を示せば必ず行政は支援をする。

ゆる現場を見てきたが、これほど想像を絶する被害の現場を見たことはなかった。私たちが何をすれば...どのよう指示を出すのか分からないくらいであった。火災は59箇所から発生するが消火栓からは一滴の水も出ず、交通手段は陥没、停電と全てがマヒしていた。水は一月14日から4月のころまで来ず、一日たりとも水がないことは大変なことである。一番困つたのはトイレであり、あらゆる努力をしていった。被災者は学校の体育館教室を占領し腹はへるし水はなし、3、4日すると自然と避難場所でのルーができ、おにぎりももらえらるものなら2個ほしかった。量2量に6人が寝る仕切りはダンボールでプライバシーはない。風呂にも入れないし水もないから洗濯もできずパンツを裏返してはく以外にないほどであった。全国から950台の消防車が救援に来てくれた。北海道から九州まで、北海道の消防車を見てどうやってここまで来てくれたのかと胸が熱くなった。自分たちの地域は自分たちで守る、自分達で、できることは自分たちです。それが安心安全のまちづくり

要援護者をどのように守れるか。いざという時に自力で難しい手助けのいる人、個人情報では色々制限があるが本人の承諾を得て関係機関で情報を共有することが大切でないか。危険を知らせる情報や救援の手が届かないために犠牲になることが多い、命には代えられない積極的を考えていくことが大事である。一人ひとりから同意をもらい目的



- ### 災害時に救出に協力して頂く企業の紹介コーナー
- (大宮田) 茂谷工務店・珍田木材有限公司・大福建設株式会社・上川運送株式会社 (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設・葵クレーン (佐久米) 小林ファームライスセンター (立田) 宝石油株式会社・株式会社伊勢クレーン・荒木田製材所・中尾木材有限公司・株式会社ミック・鍛冶春建設有限公司 (古井) 有限会社松井工務店・柳産業有限公司・エムエフマツモト有限公司・岡田園芸・株式会社サン力機工 (新屋敷) 宮前クレーン (上七見) 鈴木為郎農産・向橋本電機・奥村農産 (和屋) ススキ産機有限公司・溝口土建・井上組・有限会社安達建設

外には使用しないことをきつちりと制限しておくことだ。このようなことをしっかりとっておけば地域の連帯もできるからやるとよい。行政、民生委員と協力して共有できることは、今できることを一つでもしておかないといけない。5、10年もすれば誰が要援護者になるかもしれない。自分たちの地域は自分たちで守る、地域のこれからの大きな取り組みの中で、地域の人は今以上に和気あいあいとできる。(講演から要旨を抜粋)

野村勝のプロフィール  
野村勝さんは、神戸市消防署に当直していた、平成7年1月17日阪神淡路大地震が起りました。地震直後から現場に飛び出し、足が動かなくなるまで救出活動に当たられました。自分の住む町の9割が全壊全焼となる中、人命救助・消火活動に全力を尽くされ、家族の安否確認は4日後、8日目に家族と出会うことが出来たという奮闘でありました。現在は大地震の教訓を生かして、語り部として全国を回っておられます。又、地元 神戸市・長田駅北地区まちづくり協議会会長として大活躍されています。



# 夏祭り(夕涼み会)

## 夏の夕暮れに楽しいひととき!!

### ゆかた姿でにぎやか!!

例年幼稚園部で開催されてきた夕涼み会が、  
本年朝見まちづくり協議会と共催

今年の夕涼み会には、役員  
会も事前に2回開催して、夕  
涼み会の意義を確認しながら  
準備がされてきた。平成19年  
8月11日午後6時30分に  
晴天に恵まれ、朝見幼稚園、  
小学校の校庭で開催。今回は  
踊りの舞台も朝田町、朝田寺  
さんの舞台を借りて、花も100  
本手作りを用意され、本格的  
な設営となった。



また、屋台もスーパーボール  
すくい、ヨーヨーつり、輪投げ、  
ジュースに加えかき氷、焼き  
そば、フランクフルトと夏祭り  
が盛りあがった。会場に入る  
と先ずガラガラ抽選を受付で  
おこない、豪華景品のたびに  
歓声と鈴が響き沸いていた。



**屋台もにぎやかに  
大盛況の行列**  
6時半には谷川雅之実行  
委員長(コトバ会長)の開会挨拶  
があり、幼稚園児を中心に  
大きな踊屋台を囲んで親子の  
楽しい踊りとなった。それぞ  
れの屋台には沢山の人が行列  
を作り祭りを楽しんでいった。  
今年初めての焼きそば、かき  
氷、フランクフルトの屋台にも  
200食が完売した。最後には  
花火大会が行われ、夏の夜空  
にきれいな花火が上がった。3



00人に及ぶ参加者があり夏  
の夜のひと時を楽しんだ。今  
回、幼稚園、コトバ、朝見まちづ  
くり協議会の共催となったが  
明年の開催にも大きく期待さ  
れる夏祭りになることができ  
ました。8月28日に関係者が  
集まり反省会が行われ、出席者が  
決算報告も行われ、出席者の  
方で承認されました。夏祭り  
収支決算報告。(収入) 屋台  
等売上金額77,750円、(支  
出)各経費合計 99,154円、  
差し引き精算額 21,404  
円(協議会の事業予算で運営  
しました)寄付 加藤製麺様  
(和屋町) 10,000円、小林  
豊様(古井町) 花火。ご寄付  
を戴きました方々には大変に  
ありがとうございました。

## 青少年育成部会主催 サマーサイクリング大会 夏休みの さわやかな朝 サイクリング!

平成19年7月22日(日)午  
前6時30分集合で開催され  
た。当日は朝見小学校には子  
供たちと親が中心に28名が  
参加、始めに井坂光晴青少年  
育成部会長から注意事項と  
サイクリングのコース(朝見小  
学校→立田町→管生町→東  
部中学校→上七見町→小学  
校)が紹介され、鈴木三千夫  
事務局長の挨拶のあと元気に  
スタートした。全員が一列に  
なり、朝の涼しさを味わいな  
がら、ペダルを踏んだ、途中  
道路の横断では、役員が安全  
を見守りながら、一旦停止を  
して交通ルール守って東部中  
学校を目指す。休憩の中学校  
ではお茶が配られ一息入れて  
朝見小学校へ走った。学校で  
は宝くじ探しがあり、交換さ



れる景品に「なんだろう」と喜  
びの笑顔があった。一時間余  
りのサイクリングであったが  
楽しい夏休みの一時であっ  
た。

## 地域環境部会 環境美化キャンペーン 子供たちが ポスター制作

新年度事業の第一弾として、  
地域の美化キャンペーンに朝  
見小学校児童の英知を活用。  
同部会では、子供たちに美化  
のポスターのデザインを依頼、  
一人ひとりの美化を願った思  
いが一枚一枚の絵となり、環  
境美化を訴える絵画となった。  
その思いを朝見全体に届けた  
いと全枚数をカラーコピーし  
て保存、文化祭等を利用して  
展示会ができないかと企画を  
している。神崎勉地域環境部  
会長は一枚一枚に子供たちの  
心が描かれています。ポスタ  
ーを見かけましたら大人から  
環境美化の大切さを感じてほ  
しい!と語っている。



## 朝見市民センターに 図書文庫開設 2000冊が 寄贈される。

福祉部会は事業計画検討  
の中から、市民センターに図  
書文庫を開設して、多くの住  
民の方にも喜ばれる同センタ  
ーにしようとの企画があがり  
ました。7月より町別に書籍  
の寄贈の呼びかけを行い沢山  
の方から頂き、2000冊に及  
ぶ寄贈となりました。ダンポ  
ール箱で届けられるたびに、  
手に取った方は読みたい本が  
あるとか良い本が沢山ありま  
すね等々図書文庫開設に期  
待が寄せられました。8月  
には福祉委員のメンバーにて、  
本の整理、修理、清掃、消毒  
を行いました。書棚も市の支  
援を受け協議会の役員の手作  
りで一階ロビーと2階会議室  
後方に設置することが出来ま  
した。朝見図書文庫として9  
月3日開設を致します。図書  
文庫は、親しみやすく気軽に  
読書できることが大事である  
との観点から運営管理をして  
行きます。御礼、この度は朝  
見図書文庫の開設に当たり、  
沢山の方から大切な本を寄  
贈して頂き大変にありがた  
ございました。みなで大切に  
に使わせていただきます。  
福祉部会一同。

